

カウンスル No.8 第36期クラブ運営研修会・ミーティング要約

2025.8.8(木)20 時～ オンライン(Zoom)参加者 19 人

末廣会長が第 36 期クラブ運営研修会を主催し、各役員と参加者による自己紹介と役務の説明が行われ、会議の進行や守秘義務について説明されました。会議では、各クラブの会員数と関連会議への出席方法について議論され、ブレイクアウトルームでの部門別研修会の実施や Zoom の機能についても話し合われました。

- 会長：欠席者に録画と AI 要約の URL が後日配信されることを伝える
- 会長：欠席者が部門別研修の内容を希望する場合、出席者からリーダーに連絡するよう伝える
- 会長：会長と議長は同一人物だが役割が異なることを認識する
- 会長：開会前のギャベルは一回だけ打つ
- 会長：プレジデントの呼びかけについて、クラブごとに方針を決める
- 会長：役員会で話し合われた事は決定するまで公表しない
- 橋爪第一副会長：第一回会合の企画内容を委員会メンバーと検討し、役員と相談して決定する
- 山口第二副会長：リーフレットをチャットで参加者に送信する
- 山口第二副会長：リーフレットをウェブサイトにアップロードするよう依頼する
- 畑山書記：議事録作成の注意点を各クラブに共有する
- 宮崎会計：必要なクラブに提出書類の一覧表を送付する
- 根岸議会議法規：カウンスルレベルの会則の矛盾している箇所を自動修正で削除する
- 全会員：ITCJ のホームページにある「ITC 教育マニュアル改訂版」を確認する
- カウンスルへの派遣員：クラブの会員数を把握しておく
- カウンスルへの派遣員：カウンスル会合後 14 日以内に送られてくる議事録の訂正箇所をチェックし、期日内に書記に返送する
- 根岸千代：教育マニュアルの改訂版の 31-32 ページにある相対多数の表決について議会議法規役員と派遣員に説明する
- 山内 CLO：J から来た情報を当日中に役員に配信する
- 山口第二副会長：年間 3 回程度の Zoom や Excel、Word などのスキルアップ勉強会を企画する
- 根岸千代：会則の自動修正を行い、修正日を記載する。
- 末廣会長・根岸千代：会長と議会議法規役員の連名で自動修正の通知を作成する。
- 八尾和子 8 東京：修正された会則をウェブサイトに掲載する。
- 宮崎会計：八尾和子 8 東京に多目的フォームを送る。
- 八尾和子 8 東京：多目的フォームを整えて今野さんに提出する。
- 宮崎会計：今野さんの LINE の連絡先を入手する。
- 根岸千代：写真の編集を担当し、良い写真を選んで準備する
- 末廣会長：15 日頃に研修会の内容を各クラブ CLO に配信する

- ・ 八尾和子 8 東京: 写真を根岸千代に送る
- ・ 末廣会長: 8 月 19 日の役員会の URL を準備する

概要

クラブ運営研修会概要

○末廣会長が第 36 期クラブ運営研修会を主催し、各役員・参加者の自己紹介が行われた。会長は会議の進行規則、役職の責任、役員会の守秘義務について説明し、リーダーシップの資質についても言及した。

○橋爪第一副会長は、第一副会長の主要な任務としてプログラム教育委員会での活動支援を強調し、プログラムの準備や広報活動への取り組みについて説明した。

○橋爪第一副会長は、コミュニケーション能力とリーダーシップ向上を実現するための教育プログラムについて、全員参加型で自由な発想を重視し、年齢や経済的負担を考慮した企画を提案した。

○山口第二副会長は、会員獲得のためプログラム・教育委員会と連携し、例会の持ち方やクラブ間交流の重要性を強調した。

○畑山書記は、書記の役務について説明し、議事録作成、会員管理、会議の進行に関する基本的な責任を述べた。

○宮崎会計が会計の役務について詳しく説明し、会費の管理、会員情報の更新、予算管理、年次大会登録などの業務内容を説明した。宮崎は 8 月中にゆうちょ銀行口座の代表者変更手続きを進める予定であることを報告した。

○根岸議会法規役員がカウンスルへの派遣員と議会法規に関する運営について説明した。会議では、各クラブの会員数(東京 11 名、東葛 8 名、荏崎 5 名、彩玉 7 名、横浜 4 名の合計 35 名)と、カウンスル会合への出席方法と欠席時の手続きについて議論された。根岸は、派遣員はクラブとカウンスル会合のパイプ役であり、会議の議事録の確認と報告書の作成が重要な業務であることを強調し、参加者には最新の会則・細則と教育マニュアルの改訂版を参照するよう指示した。

研修会の実施と責任分担

会議では、各クラブの代表者による研修会が実施され、清水がコーディネーターからの報告書について質問した。佐野は会場備品の責任範囲について質問をし、根岸は 35 期から会場係と備品の責任を分けたと回答した。ブレイクアウトルームの前に、末廣が記念撮影を指示し、その後、各部門別のブレイクアウトルームが 20 分間実施された。